

国の審議状況④（中央新幹線小委員会）

「リニア中央新幹線」計画について、シリーズでお伝えしています。先月に続き、「国の審議状況」として、中央新幹線小委員会（以下小委員会）で行われた有識者ヒアリングと中央新幹線に関するパブリックコメント（※）の結果についてお知らせします。

有識者ヒアリング

有識者ヒアリングは、第6回（7月30日金）第7回（8月30日月）第8回（9月29日水）の小委員会での有識者（勸日本総合研究所理事長 寺島実郎氏、勸日本政策投資銀行地域振興グループ参事役 藻谷浩介氏、作家・元経済企画庁長官 堺屋太一氏、東京大学名誉教授 井口雅一氏、早稲田大学特命教授 伊藤滋氏）に対して行われました。

5名全てが、東京―大阪間の大動脈輸送の二重化のためのリニア中央新幹線の必要性を述べられたほか、「東京―大阪間完成の前倒し」「自己資金で開業を目指すJR東海を支援する枠組みづくりの必要性」「国内人口の減少で需要予測が下振れする可能性」「ストローク現象による大都市圏への人口流出の危険性」「設計から製造まで一貫したコスト削減意識の必要性」「中間駅設置エリアでのまちづくりの在り方」など、それぞれの視

点で意見を述べられました。

パブリックコメントの結果

広く国民の意見を聞いて、今後の審議の参考とするため、中央新幹線に関するパブリックコメント（7月30日～8月28日）が実施されました。意見募集は、第3回～5回小委員会のヒアリングにおいてJR東海が示した中央新幹線に関する計画およびこれらに関する沿線自治体（都府県）の意見を対象として行われました。

この結果が、第8回小委員会公表され、提出意見数は793件（個人669件、団体124件）で、地域別では長野県内からの意見が556件と最も多く、全体の70%を占めました。

また、ルートに関する意見は全体で540件あり、うち南アルプスルート（Cルート）を求める意見が463件と多くを占めました。寄せられた主な意見は下表のとおりです。

まちづくり課（8内線322）

※パブリックコメントとは

行政機関が実施しようとする政策について、あらかじめ国民から意見を募り、それを意思決定に反映させる制度。

パブリックコメントで寄せられた主な意見と理由

意見内容	主な理由	件数
【中央新幹線の整備に関する意見】		
中央新幹線を早期着工・早期開業すべき （整備計画の早期策定を含む）	<ul style="list-style-type: none"> 新たな国土の大動脈として21世紀のわが国の経済社会を支えるとともに、災害に強い国土の形成、低炭素社会の実現に貢献する。 地域活性化、国土の均衡ある発展につながる。 時間距離短縮により様々なビジネスチャンスの創出、生産性の向上がもたらされる。 建設による経済効果・雇用確保が期待できる。 	134
【ルートに関する意見】		
伊那谷ルートを選定すべき （Bルート）	<ul style="list-style-type: none"> 長大山岳トンネルの技術、安全性に疑問。また、費用が増加する可能性。 南アルプスのトンネルは、自然環境への影響が大きく、南アルプスの世界自然遺産登録に向けた取り組みにも支障。 全国新幹線鉄道整備法の目的である地域振興の観点を考慮すべき。 20年以上に渡って地域で取り組みを続けている。 	37
南アルプスルートを選定すべき （Cルート）	<ul style="list-style-type: none"> 所要時間が最短であり、また、建設費や維持管理費が最小。伊那谷ルートの場合、費用の増加分を利用者が負担することになる恐れがある。 長野県内だけでなく全体の利益や負担を考えると最短ルートが最適。 三大都市圏の移動時間短縮による経済効果が最大。 南信地域は、他の長野県内の地域に比べ交通が極めて不便な状況にある。 	463
多面的な視点から公正・公平な審議がなされるべき	<ul style="list-style-type: none"> 一企業の視点ではなく、国家的観点からルートを選定がなされるべき。 	23
南アルプスルート安全性や環境影響について慎重に検討・配慮すべき	<ul style="list-style-type: none"> 長大山岳トンネルの技術的な問題点、中央構造線、糸魚川・静岡構造線の存在など地質上の問題、自然環境への影響、大規模災害時の対応などに不安。 	17
【駅に関する意見】		
国・JR東海が負担・支援し、地元負担を軽減（または無しに）すべき	<ul style="list-style-type: none"> ターミナル駅はJR東海が全額負担し、他の駅は地元負担とするのは不公平。 駅周辺の整備や駅へのアクセスの整備は地元が負担することになるため。 地域の財政力を勘案すべき。 	33
駅の設置場所や建設費の費用負担について、地元と協議し、意見を聴くべき	<ul style="list-style-type: none"> 駅の位置は自治体にとって非常に重要であり、位置によってはデメリットのみを受けることも考えられる。 地方都市の再生に中央新幹線の駅が果たす役割は非常に大きい。 	21